

政策番号	19	政策分野	生涯学習
------	----	------	------

基本方針	「豊かな人生は学びとともにある」という観点から、京都ならではの「地域力」、「文化力」、「人間力」を結集し、まち全体を学びの場とすることで、子ども・若者から高齢者まであらゆる世代の市民だれもが学ぶ喜びを実感し、みずからを磨き高めて、社会を創造していけるまちづくりを進める。 また、次代を担う子どもたちを市民ぐるみで健やかに育むために、「子どもを共に育む京都市民憲章」の実践に向けた取組を市民ぐるみで推進する。
------	---

担当局	教育委員会	共管局	
-----	-------	-----	--

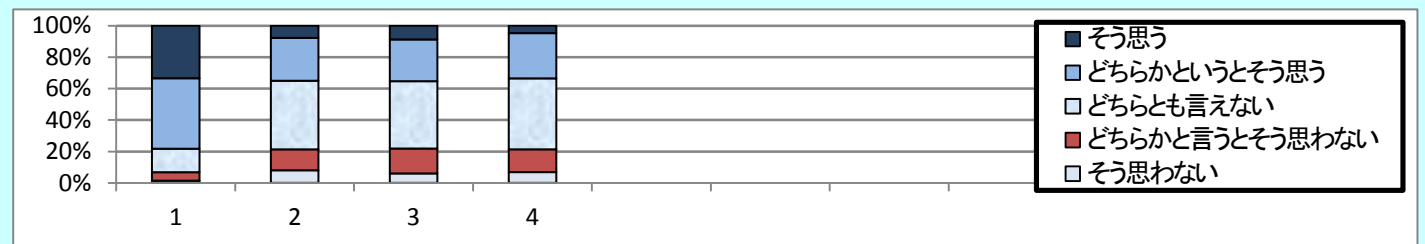
政策の評価

1 客観指標評価

指標名		23年度 評価値	32年度 目標値	23 年度	24 年度	25年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	京都のまち全体で創りだされる生涯学習情報（講座・イベント等）の数（企画）	2,290	3,000	a	a	2,555	2,749	2,200	125.0%	a
2	京都市図書館入館者数（万人）	431.5	450.0	b	b	427.3	413.3	435.6	94.9%	b
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価				a	a					a

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		23年度	24年度	25年度
1	京都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。	a	a	a
2	生涯にわたって自ら学習したことが、仕事や社会活動に役立っている。	c	c	c
3	地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。	c	c	c
4	子どもを社会の宝として社会全体で育む意識と行動が広がっている。	c	c	c
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
市民生活実感調査総合評価		b	b	b



2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

23年度		24年度		25年度	
順位	%	順位	%	順位	%
21	10.4%	20	10.2%	16	81.2%

3 総合評価

B	政策の目的がかなり達成されている		
	【客観指標】・生涯学習情報数は、企画の検討や関係団体・企業等への協力依頼を進めた結果、目標以上に増加し、昨年度に引き続きa評価となった。 ・図書館入館者数は、「予約かご」や「新着資料のお知らせメール」、「ホームページの充実」などの京都市図書館情報システムの更新に伴う休館日数の増加や、醍醐図書館の休館に伴う開館日数の減少などにより、利用登録者数は増えたものの、実際の利用者数は減少したため、昨年度に引き続きb評価となった。 【市民の実感】市民の実感については、全体として昨年度と同様の評価であった。 ・京都ならではの学習機会の豊富さについては、文化財や大学の集積といった京都の強みを反映して、高く評価されているものの、その他の設問は全て「どちらとも言えない」との回答が多数となった。 【総括】・客観指標が市民の実感を上回る結果となった。 ・各種の取組を市民の実感につなげる余地はうかがわれるものの、客観指標は一定進捗している。 ・こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は、かなり達成されていると評価する。	24年度	B
		23年度	B

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価>

施策番号	施策名	評価結果			参照ページ
		23	24	25	
1901	市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の拡充	A	A	A	201
1902	学びが社会に還元されるしくみづくり	B	B	B	203
1903	子どもを共に育む気運づくり	B	B	B	205

<今後の方向性>

・大人も子どもも学び育つまちの実現に向け、豊かな学びの場・機会・人材のネットワークづくりを進め、地域に根差した生涯学習活動の活性化を図るとともに、市民の多様な学習活動を支援し、あらゆる世代の方が自ら楽しんで学び、生涯を通して学び続けられ、その学びの成果をまちづくり、地域、子どもたちに活かすことができる京都ならではの生涯学習を推進する。

・平成23年4月に施行した「子どもを共に育む京都市民憲章の実践の推進に関する条例」の下、平成19年4月に策定した「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念が市民生活の隅々にまで浸透し、家庭、地域、学校、企業など、社会のあらゆる場で実践行動が広がるよう取組を進める。

政策名	19	生涯学習					
指標名	京都のまち全体で創りだされる生涯学習情報（講座・イベント等）の数（企画）						
担当部室	生涯学習部生涯学習推進担当		連絡先	2 5 1 - 0 4 1 0			
1 指標の説明							
京都市のホームページ上で公開されている、「京まなびネット」「みやこ子ども土曜塾」等において登録されている講座・イベント等の情報数（企画数）							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
京都のまち全体が学びの場となることをめざして、その進捗状況を示す指標			出典：事業担当課調べ				
4 数値							
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠				
	2,290	3,000	21年度実績1,986の約1.5倍				
	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値			
	23年度	24年度		数値	根拠		
数値	2,555	2,749	194件増	2,200	平成32年度までに21年度の企画数を1.5倍にするために、当該年度に達成すべき数値。		
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			
数値				根拠			
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			100%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		23	24	25
					a	a	a

指標名	京都市図書館入館者数（万人）						
担当部室	中央図書館		連絡先	8 0 2 - 3 1 3 3			
1 指標の説明							
京都市立図書館の利用者数							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
京都のまち全体が学びの場となることをめざして、市民に最も身近な学びの拠点である図書館の活用状況を示す指標			算出方法：京都市立図書館20館での利用者数の合計 出典：事業担当課調べ				
4 数値							
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠				
	431.5	450.0	21年度実績430万人からの20万人増の450万人				
	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値			
	23年度	24年度		数値	根拠		
数値	427.3	413.3	14.0万人減	435.6	平成32年度までに21年度実績から入館者数を20万人増すために毎年増加を目指す入館者数。		
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			
数値				根拠			
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			100%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		23	24	25
					b	b	b